

## 満洲「建設」だより

満洲國は今や國內の産業に又は防備に對し、土木の總力を活用しつゝあります。最近年の満洲土木研究會發行の雑誌「建設」9月號より、主要のニュースを摘錄して、満洲土木の活躍ぶりを御傳へします。(編輯部)

### 吉林の水力

吉林の水力電氣は出力60萬キロの計畫で、水量は毎秒500立方米、有效落差67米、此工事は本年7月現在に於て、右岸の堤體工事と、發電所の工事を進め秋には左岸の締切にかかる豫定であるが、施工機械の入荷が思ふ様に行かず、工程が幾分遅れてゐるが近くコンベヤー等も入る筈で、施工準備も完全すれば全力を擧げて進捗を期する豫定である。7月現在に於ては鋼筋が65%、骨材の採集が20%完了しており、混擬土は假混合場を用ひて相當施工中である。本混合場の建物が出来て56切練ミキサーを10臺据付け、9頓のシブクリーン3臺は運轉を開始し、人夫は毎日8千人位働いてゐる。

鏡泊湖の水力發電工事も近く起工の豫定、其他調査中のものや、近く起工の水力發電工事ヶ所も澤山にあります。(建設9月號中島技佐の談より)

### 密山便り

本年度は土木建設處と云ふ大きな機構の役所を特に此地方に新設した事、そして最近緊急それも生やさしい緊急でなく、超勢級的な緊急の事業が追加され9、10の兩月に相當な工事量を是が非でも完遂せしめねばならない事情にある事、従つて豫算も驚く勿れ他の四土木建設處と一緒にした程の厖大な額に達し、最近交通本部その他より多數の應援者を得て今や全處員夜を日に繼いでの大忙な活動に入つた事、新たに募集した1萬2千名の苦力が陸續と毎日の様に到着しつゝある事、至急に東京で募集した運轉手が本日を以て豫定の百名全部が到着した事等を申上ぐれば、如何に其仕事が大がかりのものであるか、緊急的なものであるか大體御想像がつくと思ひます、兎に角未だ曾て無つた様なので、緊張の上にも緊張に生活上の不自由や福祉上の不満等誰も彼も不平不満を口にする閑さえ無い位です、要するに此

頃の吾等の生活は働いて食つて寝るの連續です。

(「建設」9月號の満洲國交通部密山土木建設處長大石義郎氏による)

### 満洲國の自動車道計畫

満洲國交通部に於ては東亞の大動脈ともなるべき哈爾濱、大連間の大道路の建設計畫を發表すると共に交通部哈大道路建設調査事務所を奉天市義光街34奉天省土木廳内に設置し、すでに哈爾濱、新京間の測量を終へ、目下新京以南大連間の測量中で之が完了と共に愈よ10年計畫總工費1億6千萬圓で着工する事となつた。

哈爾濱、大連1千餘糸を結ぶこの自動車道路は、幅員40米、中央綠樹芝生等を設け、觀賞地帶に依り往路と復路を區切り、自動車道路は片側7.50米、兩側は綠化地帶となすもので、自動車のスピードも160糸を目標として設計中で、實現の曉には滿鐵の超特急のアジアも問題にならず、大連、哈爾濱間を7時間餘で突破する譯である。(建設9月號より)

### 奉營間の大運河計畫

奉天、營口間を繋ぐ大運河開鑿治水工事は延長100糸、總工費2千6百萬圓で、全長の大半は自然の河川を利用し、奉天、太子河間60糸及び太子河、鞍山間26糸計86糸の治水工事を施し、渾河太子河と結び大遼河を經て營口に結ぶのである。本運河計畫は既に現地調査測量等を一切完了し、來年度豫算の決定を待ち着工するのみとなつてゐる。

この治水工事には農閑期を利用して、沿岸の農民を總動員して康德9年度に全通の豫定であるが、運河の最底水深は2.50米であるから、600噸級船舶の通航可能となるので運河竣工の曉には營口方面向けの大豆は30%、鞍山の銑鐵は40%の輸送費を削減されることになり、運河沿岸の發展と共に各方面から大に期待されてゐる。(建設9月號より)